

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	ホースへと通水した際、挙動したホースが駐車していた自動二輪車を転倒させ、車両本体及び付属品を損傷させたもの。
3. 体験した事例の中心的要素	通水により挙動するホースに対する危険予知不足。
4. 体験した事例の原因・理由	火災現場に意識が集中し、ホース延長における周囲への注意力が低下したために発生した事故である。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	-------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年8月15日 午前5時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：住宅敷地内 駐車場
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：通水により挙動したホースが自動2輪車に接触、転倒させた。
7. 事例体験時の活動	火災 その他：詳細な時間は不明
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	ホース延長、防水活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[52]歳、勤続年数[34]年、現場経験年数[34] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[59]歳、勤続年数[40]年、現場経験年数[30] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	活動隊員は4名 当事者 年齢:23歳 勤続・現場経験:3年 階級:消防士 同様の活動:頻繁 任務:隊員

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	C	地下式消火栓に水利部署	
経過2	A,B	車両ホースカーにてホースを延長	
経過3	A,B	ホース9本延長後、放水態勢をとる	
経過4	C	放水開始	
経過5	A,B	引揚準備中、転倒した2輪車を現認する	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。危険事象の対応方法を知らなかった。集中力、注意力がなかった。周囲の視界が確保できていなかった。指揮者が適切に指示しなかった。後方からの監視が行き届いていなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

ホースの挙動による物損への危険予知不足

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

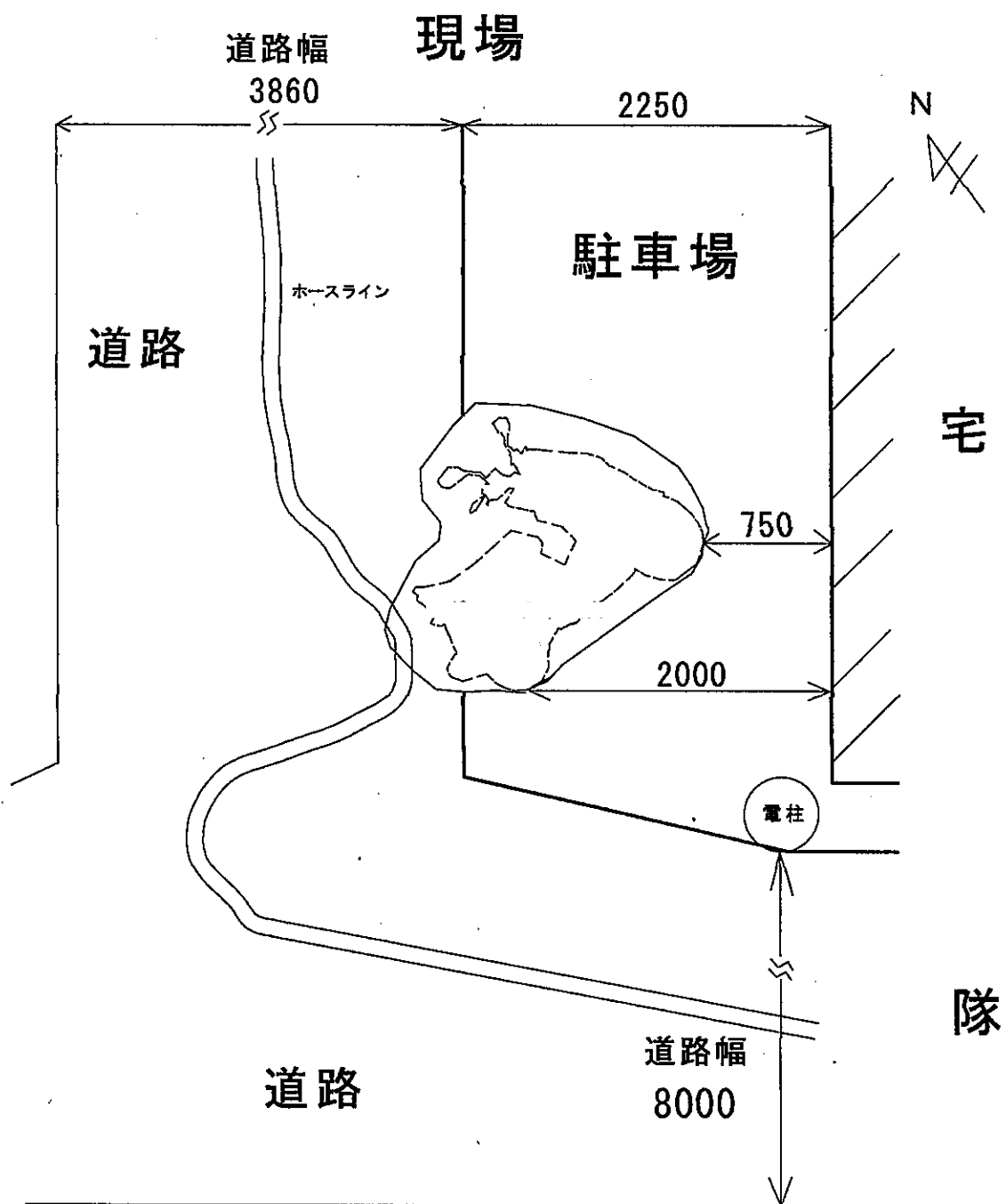
--

○活動環境の対策について

ホースを延長する際は、周囲に余裕を持つとともに直線的に延長し、通水時のホース挙動に影響しないよう延長する。
また、機関員は通水時のホースの挙動を軽減するよう、滑らかなポンプ操作を心がける。

○指揮・情報伝達の対策について

--



単位 ミリメートル
縮尺 40:1